



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

令和7年4月14日(月)

木の香るみちづくり 秋田自動車道・春の植栽 編

平成28年から毎年恒例となっている「春の植栽」活動を今年も実施しました。この活動は秋田自動車道横手 IC～秋田南 IC 間の供用開始25周年の記念事業として、また、休憩施設の景観向上対策として、八郎湖サービスエリア(SA)と太平山パーキングエリア(PA)に秋田スギ製のハニカムプランターを設置したものです。

お客様に喜んでいただけるよう、のしろ白神ネットワークの活動の一つとして、そのプランターに春と秋の年2回、花苗を植栽・設置しています。

この日、能代市内のお花屋「花まり」さんから駐車場敷地をお借りするとともに、当日は雨だったため、雨避け用テントまでご用意いただきました。花まりさんからは3名、NEXCO東日本秋田管理事務所からは4名の総勢7名で、「ペチュニア」や「ビオラ」「ディアスキア」をはじめとする様々な花苗を一つ一つ丁寧に植えつけ、108個の花鉢を完成させました。

その後、花苗の根付きが良好で安心できる状態になるまで花まりさんのプロの目で見守ってもらい、ゴールデンウィーク前の4月24日に八郎湖SA(上下)、太平山PA(上下)計4ヶ所の秋田スギ製ハニカムプランターに、それぞれ27鉢の花鉢を設置しました。設置当初なので、まだまだ緑が多く花は少ないですが、これから太陽をいっぱい浴びてきれいに咲いてくれることでしょう。

また、木製プランターカバーは長年の風雨や日ざしで色あせ、地面に接している部分の腐食も進んでいました。冬期間に再塗装し、痛んだ部分の補修を行ってきれいになりました。

各エリアに立ち寄られるお客さまが綺麗に咲き誇る花を見て、「ほっと一息」つける癒しの空間になってくれることと思っています。今後もこの植栽活動を通じて、高速道路をご利用のお客さまに癒しの空間をお届けできるよう努めてまいります。

文：栗城 進友



花まりさんに要領を教えていただきながら、一つ一つ丁寧に植えつけました。



GW前に各休憩施設に設置できました。これから太陽をいっぱい浴びてきれいに咲いてくれるでしょう。



補修した部分は若干色が異なっていますが、安定性を考慮しながらも地面への設置面積を減らし、腐食しにくくなるよう工夫しました。